

## ずっと忘れない …大内沢分校休校式…

平成22年3月をもって休校となった大内沢分校の休校式が3月6日に行われ、分校の児童10人と卒業生や教職員、また地元の方々約130人が出席しました。はじめに若林全村長は「休校に際し、一抹の寂しさを感じますが、子どもたちは地域で守り育てられたことに自信を持ち、大内沢という故郷に思いを馳せることでしよう。いつの日か、子どもたちの歓声が分校にこだますることを願います。」とあいさつしました。

その後、在校生が楽器演奏と「桃太郎」の劇を発表し、また焼きいも大会や雪遊びの思い出



を披露しました。最後に大内沢分校の新たな出発を願い、花火が打ち上げられ、拍手と歓声が起こりました。

大内沢分校は明治11年に大内沢市内の正善寺に設置され、その後、昭和59年に現在の校舎が完成しました。

最盛期には児童数も50名を超えていましたが、少子化とともに年々減少し、現在は10名という少ない人数で運営されてきました。

開校以来、大勢の子どもたちの成長を見守り、131年の歴史を誇る大内沢分校が幕を閉じました。

## 卒業おめでとう!!

### —東秩父中学校—

3月15日、東秩父中学校において卒業式が行われました。  
たくさん思いが詰まった東秩父中学校に別れを告げ、新しい目標に向かっての一步を踏み出しました。41名の卒業生の皆さん、新しい出会いを大切にして、大きく羽ばたいてください。



## 有意義な学校交流

### —神宮前小が西小を訪問—

2月25日、東京都渋谷区の神宮前小学校（川島信雄校長）の6年生25名と職員4名が西小学校を訪れ、6年生15名と交流を図りました。

神宮前小の児童は、午前中、和紙の里で紙すきとそば打ちを体験し、午後には西小に到着、西小児童は校歌の合唱や歓迎のことばで出迎えました。歓迎会後はグループ単位で学校内を案内し、校内の様子を伝えました。

その後、大内沢の水輪フィッシングセンターでジマス釣りを楽しみながら交流を深めました。はじめはお互い恥ずかしそうな様子でしたが、西小の児童がえさのつけ方や釣りざおの使い方を教えるなど、除々に打ち解けていきました。釣った



魚はその場で焼かれ、みんなでおいしくほおばり、有意義な時間を過ごしました。神宮前小学校の先生は「子どもたちも今日の交流会を楽しみにしていた。今後交流も続けていきたい。」と話されていました。